

モニタリングポスト内測定機器の耐震化に伴う欠測について

令和5年10月11日
福島県環境放射線センター

1 経緯

本県では、東京電力(株)福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所周辺の放射線を常時監視するため、環境放射能を連続測定するモニタリングポストを設置している。

今般、放射線の常時監視に係る設備機器について、耐震安全性のより確実な確保を図るため、「モニタリングに係る設備機器の耐震安全性に関するガイドライン」(平成28年7月、原子力規制庁監視情報課放射線環境対策室)に基づく耐震化(以下「作業」という。)を実施する。

2 作業概要

(1) 対象地点

平成26年度に整備したモニタリングポストのうち8地点(図1、表1のとおり)

(2) 実施時期

令和5年10月～令和6年3月末

なお、各地点の工期は約2カ月を見込んでいる。

(3) 作業内容

床材の変更(セメント敷き)及び測定機器等のアンカーボルト固定

表1 対象となるモニタリングポスト8地点

No.	地点の名称	所在地
1	いわき市小川	いわき市小川町上小川字表7-1
2	田村市都路馬洗戸	田村市都路町古道字休場33-36
3	広野町小滝平	広野町大字上浅見川字土ケ目木1-7
4	檜葉町木戸ダム	檜葉町大字上小埜字シベソフ9
5	川内村下川内	川内村大字下川内字山梨作504-1
6	浪江町大柿ダム	浪江町大字室原字十年平地内
7	葛尾村夏湯	葛尾村大字落合字夏湯148-2
8	南相馬市泉沢	南相馬市小高区泉沢字大久195

3 欠測期間中の対応

本作業により空間放射線量率等が欠測となることから、代替測定として、可搬型モニタリングポストによる空間放射線量率の測定及びハイボリウムエアサンプラにより採取した大気浮遊じんの核種分析を実施する。なお、代替測定の結果は、令和5年度環境放射能等測定計画に基づく測定と区別するため参考値として記載することとする。

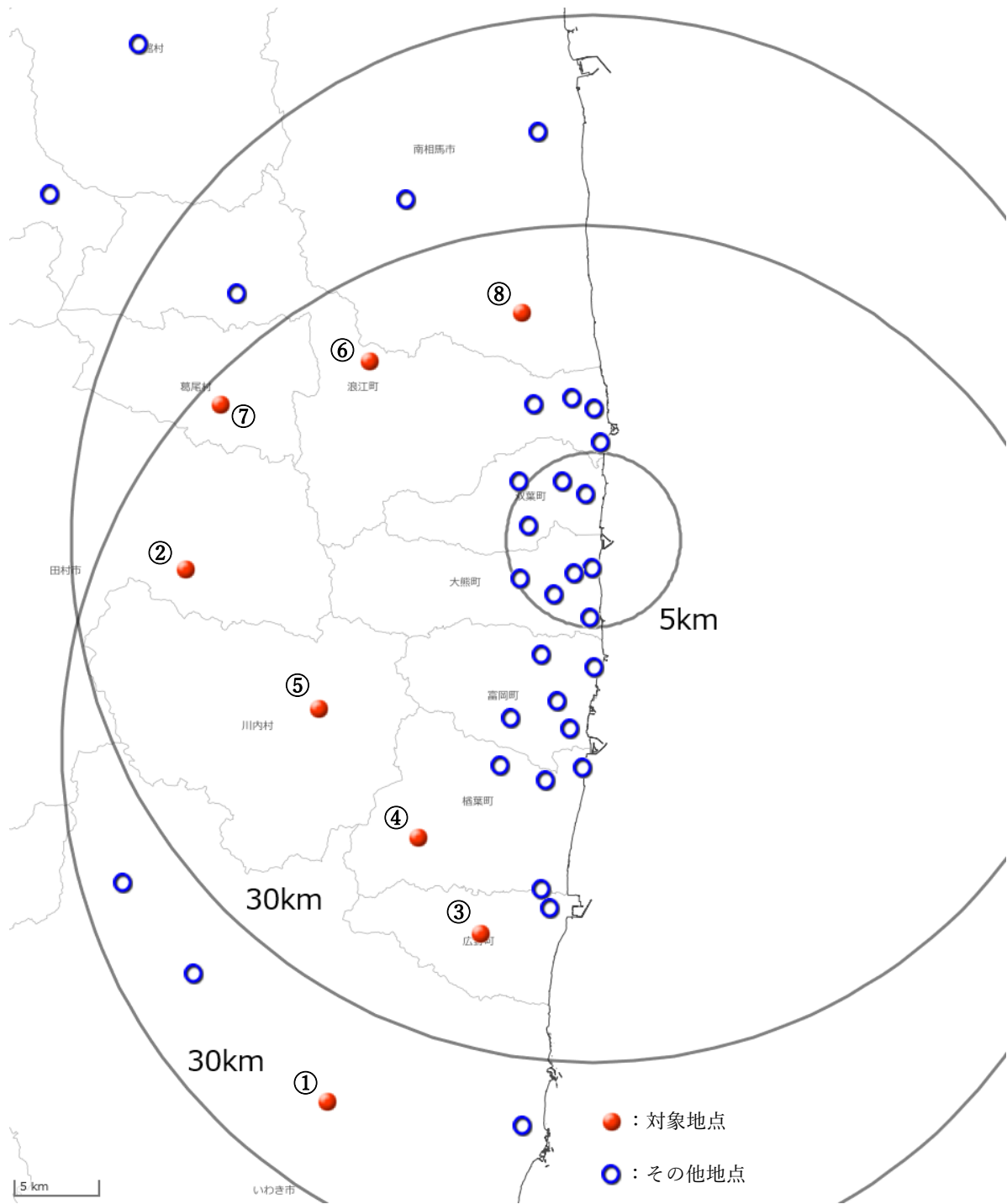


図1 モニタリングポスト測定地点